

## ⑦ 荒廃茶園を果樹園芸団地に転換 【JAハイナン（吉田町）】

### ■ 活用した事業

「農地耕作条件改善事業」を活用して荒廃茶園を整備して果樹園芸団地に転換した。

### ■ 経営の概況

JA管内の牧之原市（旧相良町・榛原町）、吉田町、御前崎市（旧御前崎町）での基幹作物は茶で、その他にコメや野菜などを生産している。

### ■ 取組内容

基幹作物の茶の価格低迷、茶生産者の減少等による荒廃茶園の増加という課題を抱えている。地域農業の振興を目指し、吉田町内の荒廃茶園約2haの農地を果樹（ブドウ、レモン）とイチゴを中心とした農産物の生産に転換することとし、関係機関の協力を得て果樹園芸団地に再生することとなった。

令和3年6月から地権者、耕作者、近隣住民へ事業説明会を開き、令和4年1月から地権者から同意書、6月から圃場の選定、賃借契約、9月工事開始、11月工事完了に至った。

基盤整備面積は2haで、事業費は2,700万円であった。農地耕作条件改善事業、JAの「農業振興対策積立金」から支出し、さらに吉田町から当該地域の農業振興のための交付金の交付を受けた。農地整備に関して、地権者や耕作者は費用を負担していない。

また圃場については、農地中間管理機構を通じて借り上げた。圃場整備後の換地もなく、転換は円滑に実施できた。

再生した果樹園芸団地の耕作者は、地権者のうち2名と吉田町から参加を呼び掛けた者の中から7名（新規就農者1名を含む。）の計9名でブドウ、イチゴ、レモンを栽培している。



荒廃茶園跡に整備されたイチゴのハウス



荒廃茶園から転換、新植されたブドウ